

日本フラワービジネス大賞2010の受賞者及び授賞式について

財団法人日本花普及センター、日本花き取引コード普及促進協議会及びジャパンフラワーセレクション実行協議会は、花き業界関係者の幅広い参加協力を得て、平成18年度から、花きの新品種の開発・導入及び活用・普及について多大な貢献や先駆的な役割を担った者ほか、花きの流通・販売面で新技術の開発・導入や新たな需要開発に多大な貢献や先駆的な役割を担った民間企業、試験研究機関、各種団体あるいは個人を選考している。

今年度は、日本フラワービジネス大賞選考委員会（委員長 磯村信夫 株式会社大田花き代表執行役社長）を11月1日に開催し、我が国花き産業の新たな課題に若い人材が中心となって意欲的に取り組んでいる個人、グループ、団体等を発掘して活動状況等を発表する機会を与えるチャレンジ部門を新たに設けるとともに、次の2部門を3者を選考・表彰することとした。

日本フラワービジネス大賞2010の受賞者一覧（詳細は資料1、2を参照）

年次	部門	受賞者	受賞内容
2010 (5回)	育種・生産部門	有限会社角田ナーセリー（愛知県）	ガーデンセンター、園芸店、量販店等へ、多品目・品種の花苗等を生産・販売し、花苗部門の先駆的な企業経営モデルとして貢献
	育種・生産部門	J Aとぴあ浜松 浜松PCガーベラ (静岡県)	品質管理や消費者への普及等に先進的な目標を持って最も活発に活動している生産者グループであり、ガーベラの需要拡大に貢献
	流通・販売部門	該当者なし	
	チャレンジ部門	ちば花と緑の会 (千葉県)	千葉の花き生産者有志による団体で、展示商談会や農場公開を企画・運営することにより、商品のPR力・新商品の開発力・販売力を高めるとともに、生産者と流通・販売関係者が消費拡大に向けたパートナーシップを築き、生販連携活動の一つのモデルとして貢献

これらの授賞式は、ジャパンフラワーセレクション2009—2010のフラワー・オブ・ザ・イヤーの授賞式と合同で、12月7日（火）開催することとし、併せて、日本フラワービジネス大賞2010の受賞者関係者による特別講演を行う。

開催月日：平成22年12月7日（火）午後1時30分～午後5時

開催場所：農林水産省共済組合 南青山会館 新館（東京都港区南青山5丁目7番10号）

（授賞式及び特別講演の詳細は資料3を参照）

なお、当日、取材を希望するマスコミ関係者につきましては、御社名、御担当者等を e-mail または F A X で下記に御連絡ください。

（お問い合わせ先）

財団法人日本花普及センター 企画調査部 西岸芳雄 本田 繁

〒103-0004 東京都中央区東日本橋3-6-17 山一ビル4階

TEL： 03-3664-8739

FAX： 03-3664-8743

Eメール： jfpc@jfpc.or.jp

<http://www.jfpc.or.jp>



いいこと
あった日、
花を買う。

花っていいよね。キャンペーン

(資料1)

日本フラワービジネス大賞 2010 受賞者の概要

(育種・生産部門)

有限会社角田ナーセリー

代表： 代表取締役 角田 篤

住所： 〒491-0353 愛知県一宮市萩原町萩原字橋上14-1

TEL：0586-69-6351 <http://www.tnn.ne.jp>

活動概要： 昭和47年（1972年）の創業後、昭和61年（1986年）に有限会社角田ナーセリーを設立以来、農業生産の企業的自立をめざし、雇用環境、労働条件の充実を図りながら、ガーデンセンター、園芸店、量販店、造園業者へのダイレクト販売により、固定価格、庭先販売を一貫して推進してきた。

また、角田ナーセリーグループは、「欲しい苗が、欲しいときに！」をキャッチフレーズに、多品目・品種の花苗・野菜苗を生産・販売（直営生産700万ポット）するとともに、愛知、岐阜、三重、長野の8社（生産者）とオンラインで接続して在庫出荷管理するグループ生産分を合わせて、年間約1100種類、1300万ポットを全国のガーデンセンター等へ供給している。

現在、役員を含めたスタッフは約70名で、本社農場の施設面積が約3haで、平成18年には長野県木祖村に高冷地農場を新設した。

特に、千日小坊やカレンジュラ「まどか」等オリジナル品種の育成開発にも積極的に取り組み、新たな商品開発や需要開発に貢献するとともに、花き業界における花苗部門の先駆的な企業経営モデルとして貢献している。



角田ナーセリーの新春展示会



品目名：カレンジュラ（きんせんか）
品種名：まどかチーズトルテ
J F S 2008-2009 花壇苗部門
フラワー・オブ・ザ・イヤー

(育種・生産部門)

JAとびあ浜松 浜松PCガーベラ (静岡県浜松市)

代表： 中嶋宗一 (部会長 (ガーベラの生産者))

住所： 〒431-120 静岡県浜松市西区深萩町304-1101

TEL：053-486-4070 <http://www.ne.jp/asahi/pcgerbera/hp/top/>

活動概要： 浜松PCガーベラは、JAとびあ浜松のガーベラ共選部会であり、PCとは「ガーベラパッキングセンター」の略で、出荷調整作業を一元化することで高品質・安定生産とマーケティング活動の両立に成功している。この部会員16名は、平均年齢が43歳と若く、その生産施設面積が7.5ha年で、年間出荷本数2千万本を誇る日本一のガーベラ産地である。

特に、浜松PCガーベラは、品質管理にこだわりがあり、毎朝10時半までにパッキングセンターに持ち込まれたガーベラは、生産者自身・品質委員会・パートによる3重の品質検査を受け、選別・梱包される。

品質委員会は、年に2回、花を採る生産者・各家庭のパート・センターで働くパートなど関係者全員を対象に目揃い会を実施し、品質の均一化を図っている。

また、定期的に生産者別・品種別・他産地との日持ち比較試験を実施し、日持ちの良いガーベラ・ガーベラの管理方法について研究している。

そのうえで、平成22年9月からは、出荷箱への採花日表示とMPS参加ロゴマークをスタートさせた。

浜松PCガーベラが目指すものとしては、以下のとおり、4つの目標を掲げ、先駆的に実践している。

① 「環境に配慮した農業の推進」

ガーベラの栽培履歴・いわゆるトレーサビリティは10年以上続けている。

トレサビの分析から省肥料・省農薬・省エネルギーへの取組みも進めている。

平成17年 エコファーマーを取得

平成22年3月 MPS-ABC 参加申請

② 「お花を通じて豊かな心を育む‘花育’活動」

近隣の小学校・養護学校・幼稚園・保育園・育児サークルなどの子供たちをガーベラ温室へ招き、実際にガーベラの花を摘んでもらう取組みを進めている。

また、有名花屋さんとのコラボでアレンジ教室やフラワースクールに出向き、お花屋さんを目指す方たちにガーベラについての講演活動も展開している。

③ 「ガーベラフェア・産地フェアの積極推進」

ひと目で浜松PCガーベラとわかるツールが、オリジナルキャラクターの'ピロロとクララ'、そして生花ポスター'シャガール板'を作成して活用している。

全国の花屋さん等と連携してガーベラフェアを実施している。花屋さんには、シャガール板を貸し出し、店頭装飾をバックアップするとともに、ポスター・カタログ・POP等、販促グッズを提供している。

④ 「Partnership & Challenge」

浜松 PC ガーベラの PC そのもうひとつの意味は、パートナーシップそして挑戦である。ガーベラを育てるわたしたち、流通業者の方たち、お花屋さん、そしてお客さまとの信頼関係を築き、ガーベラのみならずさまざまなお花を育てる日本中・世界中の人たちとの協調関係を繋ぐ、花業界を盛り上げる活動、そして絶えず新しいことに挑戦している。

このように、浜松PCガーベラは、切り花産地の中で、先進的な目標を持って最も活発に活動している生産者グループであり、ガーベラの需要拡大に貢献している。



部会員による目揃い会の実施



オリジナルキャラクターのピロロとクララ'



温室での花摘み（花育活動）



花屋でのPCガーベラフェア（シャガール版の展示）

(チャレンジ部門)

ちば花と緑の会 (千葉県)

代表： 前林健一 (千葉県香取郡多古町 前林園芸 (アジサイ、シクラメンの生産者))

住所： 事務局 千葉県海匠農林振興センター 改良普及課

〒4284-2504 千葉県旭市二の1997-1

TEL：0479-62-0334 <http://www.hanami-chi.net>

活動概要： ちば花と緑の会は、平成15年(2003年)に発足した千葉の花き生産者有志による団体であり、展示商談会や農場公開を生産者自らが企画・運営することにより、商品のPR力・新商品の開発力・販売力を高め、新たな花き産地としての活性化を図るとともに、生産者と流通・販売関係者が消費拡大に向けたパートナーシップを築き、お互いの経営向上を目指している。現在、約40名の生産会員(切り花、鉢物、苗物、植木等の多様な生産者)で組織されている。

平成15年7月に開催された「ちば海匠花と緑の生産者紹介」(1回目)から、順次拡大されて、平成22年10月には、「花と緑の生産者紹介2010 in ちば」(8回目)となり、新たに愛知県や鹿児島県の生産者にも参加するとともに、全国の卸・仲卸、小売関係者等が約100名以上が参加して、具体的な商談取引や商品に関する意見交換が活発に行われた。

また、平成21年からは、ちば花と緑の会のシンボルロゴマーク(タグ「はなみち」)を作成し、会員が商品出荷の際に添付して利用できるようにしている。

このようなちば花と緑の会の活動は、生産者が主体的に企画・運営する生販連携活動の一つのモデルとなっている。



花と緑の生産者紹介2010 in ちばの展示商談会



会員の農場見学会



生産者の作業場での会議の様子



「はなみち」タグ付鉢物



(資料2)

日本フラワービジネス大賞の受賞者一覧

年次	部門	受賞者	受賞内容
2010 (5回)	育種・生産部門	有限会社角田ナーセリー (愛知県)	ガーデンセンター、園芸店、量販店等へ、多品目・品種の花苗等を生産・販売し、花苗部門の先駆的な企業経営モデルとして貢献
	育種・生産部門	J A とぴあ浜松 浜松 P C ガーベラ (静岡県)	品質管理や消費者への普及等に先進的な目標を持って最も活発に活動している生産者グループであり、ガーベラの需要拡大に貢献
	流通・販売部門	該当者なし	
	チャレンジ部門	ちば花と緑の会 (千葉県)	千葉の花き生産者有志による団体で、展示商談会や農場公開を企画・運営することにより、商品のPR力・新商品の開発力・販売力を高めるとともに、生産者と流通・販売関係者が消費拡大に向けたパートナーシップを築き、生販連携活動の一つのモデルとして貢献
2009 (4回)	育種・生産部門	草野修一氏 (有限会社綾園芸 代表) (宮崎県)	日本を代表するラナンキュラスの育種家で、最近の切花及び鉢物のラナンキュラスの需要拡大に貢献
	流通・販売部門	株式会社ジョイフル本田 (茨城県)	近年、花材や園芸資材の小売販売面でシェアが増加しているホームセンターの中で、豊富な品揃え、専門スタッフによる商品企画と品質管理等で先駆的な役割を担って貢献
2008 (3回)	育種・生産部門	鷲澤幸治 (秋田国際ダリア園 園長) (秋田県)	日本を代表するダリアの育種家で、最近の切花・ダリアの需要拡大に大きく貢献 国内の切花・ダリアの年間取扱数量の4割以上が鷲澤幸治氏の育成品種。
	流通・販売部門	群馬県あじさい研究会 (群馬県)	鉢物アジサイのオリジナル品種「フェアリーアイ」を活用したブランド商品(母の日ギフト)の開発・販売で先駆的な役割を担って貢献
2007 (2回)	育種・生産部門	タキイ種苗株式会社 (京都府)	ヒマワリのサンリッチシリーズの育種開発で、切り花の新たな需要開発に貢献 国内の切り花・ヒマワリの8割以上を占めるとともに、世界でも(オランダ花き市場)9割以上を占める
	流通・販売部門	株式会社パーク・コーポレーション (東京都)	青山フラワーマーケットの店舗展開 駅前の利便性のよい店舗を展開し、ミニブーケ等の手軽に楽しめる商品開発を行い、若い消費者層の新たな需要開発に貢献
2006 (1回)	育種・生産部門	八幡平市花き開発センター (岩手県)	リンドウの育種、産地形成及び切花の輸出等で先駆的な役割を担って貢献

(資料3)

日本フラワー・オブ・ザ・イヤ－2010、日本フラワービジネス大賞2010
の授賞式及び特別講演

- 開催月日：平成22年12月7日（火）午後1時30分～5時 受付：午後1時～
- 開催場所：農林水産省共済組合 南青山会館 新館（東京都港区南青山5丁目7番10号）
- 参加費：無料（交流会のみ会費制：2,000円）
- プログラム

《日本フラワー・オブ・ザ・イヤ－、日本フラワービジネス大賞の授賞式》 午後1時30分～3時

●「日本フラワー・オブ・ザ・イヤ－2010」の表彰

（主催：ジャパンフラワーセレクション実行協議会）

ジャパンフラワーセレクション2010-2010で入賞した品種の中から、栄えあるフラワー・オブ・ザ・イヤ－（最優秀賞）、ベスト・フラワー（優秀賞）、特別賞の発表及び表彰を行います。

●「日本フラワービジネス大賞2010」の表彰

（主催：財団法人日本花普及センター、日本花き取引コード普及促進協議会）

花の産業分野における新品種の開発・導入及び活用・普及について多大な貢献や先駆的な役割を果たした企業、試験研究機関、個人や団体を表彰します。①育種・生産部門と②チャレンジ部門に分けて行います。

《日本フラワービジネス大賞受賞者による特別講演》 午後3時分～5時

表彰を受けた花の産業分野における先進事例について、特別講演を行います。オリジナル品種の開発・生産、産地ブランドの取り組み、花きの流通販売戦略等についてお話しいただきます。

（講師） 角田 篤 氏（有限会社角田ナーセリ 代表取締役（花苗等の生産・販売））

鈴木 誠 氏（JAとぴあ浜松 浜松PCガーベラ 部会員（ガーベラの生産））

小林久夫 氏（ちば花と緑の会 会員（フルールセゾン代表 マトリカリア、ダリア等の生産））

《受賞者等を交えての交流会（立食）》 参加費：2,000円 午後5時～6時30分

受賞者、審査委員、育種関係者、花き産業関係者等を交えての交流会を開催いたします。

実際に受賞した品種が展示されている場所で行います。どなたでも参加できます。意見交換の場としてください。

（問い合わせ先）

財団法人日本花普及センター 企画調査部
〒103-0004
東京都中央区東日本橋3-6-17 山一ビル4F
TEL : 03-3664-8739 FAX: 03-3664-8743
E-mail : jfpc@jfpc.or.jp
URL : <http://www.jf-selections.net/>
<http://www.jfpc.or.jp>



参加申請書 財団法人日本花普及センター 企画調査部宛 FAX 03-3664-8743

団体・企業・屋号等名	
------------	--

【出席者氏名】

所属・役職	氏名	授賞式 13:30～	特別講演 15:00～	交流会 17:00～

※該当するところに○を付けて下さい。メールで申し込みの方は、上記内容をメールでお知らせ下さい。(jfpc@jfpc.or.jp)